

ていただきます。どうもありがとうございました。  
○司会 高橋先生、ありがとうございました。これですべてのセッションを終了させていただきます。

最後に、われわれのデュアルディグリーの学生

からの問題提起もありました。また、会場の皆さんからもさまざまなリクエストがありましたので、このICCSを立ち上げた加々美光行前所長から、閉会の挨拶をしていただきたいと思います。

---

## 閉会挨拶 加々美光行（愛知大学）

---

突然、指名されましたので、あまり準備はありませんが、5分ほど時間をいただけるということです。少しまとめた話も入れて、閉会の挨拶にさせていただきます。

最初に、「開発」と「和諧」の定義という問題がありました。「開発」については、私なりの定義をお示ししました。ですから、誰も開発について定義を示さなかったわけではないということ、もう一度ご確認ください。

「和諧」については、このようなことです。これはダイナミクスです。「和諧」という概念に、静態的 (static) な目標、つまり指標というものはありません。ある決まったかたちに社会がなれば、それで社会は動かないというものではありません。そこから再び対立や矛盾が引き起こされないという社会は、本来活力のない社会です。必ずどのような社会も一定程度のハーモニアスな社会を一時的に実現しても、必ずそのなかからさまざまな社会矛盾を引き起こします。

したがって、その新しく起きてくる社会的な矛盾を克服していくレジーム、つまり一種の規制、システムをつくりあげることが「和諧」なのです。

ですから、「和諧」には絶対的な目標は絶対にあり得ません。そのようなシステムはどのようなものであるかということ、皆さんに提案していただきたいのです。

例えば、民族問題ではチベットで大きな問題が起きております。もちろん環境問題でもものすごく起きています。それぞれの環境のなかの、例の人文資源など、さまざまな概念が観光に関しても言われました。生態環境についてはむしろです。

それぞれについて、どのようなシステムをつ

っていくのか、それは協同組合運動でも構いませんし、社区というシステムでも構いません。あるいは、さまざまな公共空間、NGOでも構いません。そのようなものを1つ1つ積み上げていく努力が大事です。

それから、オオハシさんが少し言われましたジェンダーの問題は、このICCSの今までの活動のなかで取り上げられなかったわけではありません。たびたびお名前を挙げて恐縮ですが、張玉林先生は、中国の農村社会は消滅すると、村落は消滅しつつあるという驚くべき提案をICCSの過去の会議でなされております。

そのときに、農村における女性の自殺者、婦人の自殺者が極めて増えているという指摘をなされました。それは、今回の討論のなかでもありましたように、「三ちゃん農業」のなかで、例えば身障者も農村に残りますね。もちろん、老人も残るわけです。しかも寝たきり老人までが残ります。そのなかで最も大きな負担を被るのは女性です。

これは、かつて1960年代にウィリアム・ライヒ (Wilhelm Reich) が言ったことですが、さまざまな社会的矛盾のなかで最も根底的な矛盾はジェンダー的な矛盾です。つまり女性の抑圧であるということを使ったわけです。ご存じのように当時、女性抑圧は、男性の解放もなければならぬ、女性の解放だけでは駄目だといったような問題が提起されてまいりました。この問題は、むしろICCSのテーマのなかの守備範囲の問題です。

なぜかと言いますと、社会的な紛争や対立矛盾について、「開発」が叫ばれるようになったこの時代に、それについての十分な反省、それを否定

するという意味ではありませんが、それをいったんひっくり返してみても、そのようなかたちの流れが、世界的にまだ十分に起きていない段階で、「開発」と「和諧」という、「和諧」をどのように定義するかということを示しました。その問題をめぐって、これから議論を重ねていきます。それによってICCSは問題解決型の提起をしていきたいと考えています。これは私たちが約束したことです。

つまり、単に傍観者的に問題を論文に書くのではなくて、その1つ1つの状況のなかに自分たちの主体を埋め込んでいきます。埋め込むことは、その状況のなかに埋没することではありません。状況のなかから、明らかに理論化し、ある意味では問題解決型の提起をしなければなりません。そのようなかたちで、これからもICCSは進んでいきます。

もちろん、この方法論について異論がないわけではありません。先ほど、最初に李先生からご紹介があったように、樞根先生という環境分科会の主査がいました。彼は、常に私に対して批判的でした。そのような方法論を提起すること自体に批判的でした。しかし、幸い今日はおいでになりますので、私が一方的にその話を申し上げているわけです。

いずれにしても3日間、たまたま天気がよかったです。しかしながら夜は寒くて、飲みに行か

れる方は風邪を引いた方もおられたようです。私のうしろでコンコンと咳をしている方もおられましたから、ぜひお身体に気をつけてください。それから3日間、本当に私自身がわくわくするような思いで報告を拝聴いたしました。本当にありがとうございました。

王処輝先生が言われた最後の言葉です。私たちは中国でもシンポジウムを開いてまいります。これからも、中国でシンポジウムを開くことによって、この成果を、少なくとも中国に伝えていくという努力を、私はもう所長ではありませんので、私が言うべきことではありませんが、その点を申し上げて、私の挨拶としたいと思います。どうもありがとうございました。

○司会 加々美先生、ありがとうございました。加々美先生らしく、主役はあなたです。和諧社会の主役という意味では、私は賛成です。特に若い学生たちですね。和谐社会的主角是你们，不是你们的老师。それでいいでしょうか。

大変建設的な3日間でした。これで終了いたします。すべてのプログラムは、これで終了することになりました。3日間の長い時間にわたり、ご聴講いただき本当に感謝しております。どうもありがとうございました。

<了>